

2011年10月24日

『放射能汚染 ほんとうの影響を考える』（第1刷）訂正表

◆35頁、後ろから9行目

二葉町 → 双葉町

◆60頁、後ろから3行目から61頁、1行目にかけて以下のように

ことでマグニチュードにあたり、ベクレル (Bq) として表現される。一方、シーベルト (Sv) は人体への影響をはかるために導入された単位であり、放射能をもつ物質からの距離や遮蔽物で減衰した形で人体に影響するので、いわば震度にあたる。レム (Rem) は Sv の昔の呼び方である。グレイ (Gy) は物理的な単位で、単位質量あたりの吸収エネルギーである。

◆74頁、9行目から13行目にかけて以下のように

政府が引き上げた最大被曝線量の 20mSv を妊婦が被曝すると、その子宮吸収線量は 20mGy となり、100mGy より低い。しかしながら、  
(10行目途中から13行目途中「ってしまうので～60mGy であ」を削除)

◆76頁、表2-4のキャプション、1行目、2行目、5行目

がん発症率 → がん死亡率

◆76頁、4行目

がんを発症する → がんで死亡する

◆76頁、9行目最後に以下を追加

しかし、この死亡率は過去のデータに基づき係数を導き出し計算したものであり、医学の進歩により低下することが期待される。

以上